

# いつまでもお元気で！

## 市内最高齢者を

## 市長が訪問

9月18日の敬老の日を前に、15日金照山俊一市長が市内の男女それぞれの最高齢者を訪問し、長寿を祝い記念品を贈りました。

市内の最高齢者は、安岐町下原の松矢美代さん（105歳）、男性の最高齢者は、国見町岐部の郷司仙龍さん（101歳）です。

松矢さんは、明治34年8月生まれの105歳。子どもさんとお孫さん夫婦との5人暮らしで、105歳を迎えた現在でも、食事やトイレ等身の回りのことは一人でできるそうです。

郷司さんは、明治37年11月生まれの101歳。子どもさん夫婦との3人暮らしで、以前は胎蔵寺住職をされていました。照山市長の「お元気ですね」との問いかけにも「病気はありません。」としつかりした口調で答えていました。

市内には、9月1日現在で100歳を超えた方が22名（男性5名・女性17名）、これから（今年度）100歳を迎える方が11名いらっしゃいます（男性4名・女性7名）。



▲男性最高齢者の郷司仙龍さん



▲市内最高齢者の松矢美代さん

## 市内各地で

## 敬老会を開催

9月18日は敬老の日でしたが、国東市内では各行政区でそれぞれ趣向を凝らした敬老会が開催されました。台風13号の影響で、延期や中止された行政区もありましたが、招待されたお年寄りの皆さんは、楽しいひとときを過ごしました。

国東町の富来浦手区で開催された敬老会には、区内のお年寄り60名が参加。同区の子ども会の皆さん15名が、歌やゲームで交流した後、「おじいちゃん、おばあちゃんいつまでも元気に長生きしてください。そしていろんなことを教えてください。」と6年生が作文を発表しました。また、舞踊やカラオケ等も披露され、楽しい一日を過ごしました。



▲国東町富来浦手区の敬老会（9月24日（日）・富来地区コミュニティセンター）